

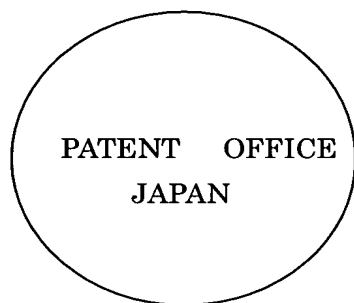
JAPAN PATENT OFFICE

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

Date of Application: November 27, 2002

Application Number: TOKUGAN 2002-344314
[ST.10/C]: [JP 2002-344314]

Applicant(s): ZUIKO CORPORATION



September 30, 2003

Commissioner,

Japan Patent Office Imai Yasuo

Japan
Patent
Office seal

Japanese Certificate Number: SYUSSYOUTOKU 2003-3080030

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日 2 0 0 2 年 1 1 月 2 7 日
Date of Application:

出 願 番 号 特 願 2 0 0 2 - 3 4 4 3 1 4
Application Number:
[ST. 10/C]: [J P 2 0 0 2 - 3 4 4 3 1 4]

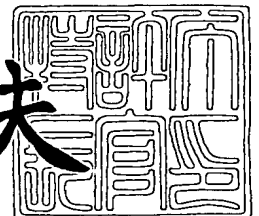
出 願 人 株式会社瑞光
Applicant(s):



2 0 0 3 年 9 月 3 0 日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今 井 康 夫



【書類名】 特許願

【整理番号】 PK020632

【提出日】 平成14年11月27日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 A61F 13/15

【発明者】

 【住所又は居所】 大阪府摂津市南別府町 1 5 - 2 1 株式会社瑞光内

 【氏名】 一浦 雄三

【発明者】

 【住所又は居所】 大阪府摂津市南別府町 1 5 - 2 1 株式会社瑞光内

 【氏名】 中門 正毅

【発明者】

 【住所又は居所】 大阪府摂津市南別府町 1 5 - 2 1 株式会社瑞光内

 【氏名】 牧村 員利

【発明者】

 【住所又は居所】 大阪府摂津市南別府町 1 5 - 2 1 株式会社瑞光内

 【氏名】 倉田 修平

【特許出願人】

 【識別番号】 591040708

 【氏名又は名称】 株式会社瑞光

【代理人】

 【識別番号】 100075502

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 倉内 義朗

 【電話番号】 06-6364-8128

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 009092

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 吸収性物品

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 液透過性の表面シートと、液不透過性の防漏シートと、これらの表面シートおよび防漏シート間に介在された液保持性の吸収体と、からなる本体を少なくとも有する吸収性物品において、表面シートを折り込んで立ち上げ片が形成されるとともに、立ち上げ片が疎水性の第 1 の接着剤を介して接着されていることを特徴とする吸収性物品。

【請求項 2】 前記立ち上げ片には、伸長状態の弾性体が第 2 の接着剤を介して貼着されていることを特徴とする請求項 1 記載の吸収性物品。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、使用者が下着とともに狭い股間において着用する生理用ナプキン、失禁用パット、おりもの処理用パット、使い捨ておむつなどの吸収性物品に関するものである。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

一般に、吸収性物品、例えば、生理用ナプキン 1 1 は、図 3 および図 4 に示すように、液透過性の表面シート 1 3 と、液不透過性の防漏シート 1 4 と、これらの表面シート 1 3 および防漏シート 1 4 間に介在された液保持性の吸収体 1 5 と、からなる縦長状の本体 1 2 を少なくとも有している。そして、吸収性物品 1 1 においては、着用中において、経血などの排泄液を吸収体 1 5 で確実に吸収するとともに、排泄液が物品 1 1 の外へ漏出することがないように、本体 1 2 の左右各端縁に位置して、液不透過性材料、例えば、撥水性不織布から形成された立ち上げ片 1 6 が設けられている。

【0 0 0 3】

ここで、立ち上げ片 1 6 の各側端縁は、表面シート 1 3 および防漏シート 1 4 にそれぞれ接合されている（例えば、特許文献 1、特許文献 2 参照）。

【0004】

【特許文献1】

特開 2001-252308 号公報

【特許文献2】

特開 2002-315781 号公報

【0005】

【発明が解決しようとする課題】

ところで、立ち上げ片は、排泄液が透過して外部に漏出しないように、疎水性の不織布によって形成されており、吸収性物品を構成する材料の種類が増加し、全体としてコストがかさむという問題があった。

【0006】

本発明は、このような問題点に鑑みてなされたものであり、立ち上げ片としての機能を損なうことなく材料の種類を増加を抑えてコストを削減することのできる吸収性物品を提供するものである。

【0007】

【課題を解決するための手段】

本発明は、液透過性の表面シートと、液不透過性の防漏シートと、これらの表面シートおよび防漏シート間に介在された液保持性の吸収体と、からなる本体を少なくとも有する吸収性物品において、表面シートを折り込んで立ち上げ片が形成されるとともに、立ち上げ片が疎水性の第1の接着剤を介して接着されていることを特徴とするものである。

【0008】

本発明によれば、立ち上げ片は、表面シートを折り返して形成されている。そして、液透過性の表面シートを折り返して形成された立ち上げ片は、疎水性の接着剤によって貼り合わされていることから、経血などの排泄液が立ち上げ片を透過することはない。

【0009】

この結果、立ち上げ片を形成するための格別な疎水性の不織布は不要となることから、材料の種類を増加させることがない他、原材料費を低減することができ

、全体コストを削減することができる。また、本発明の吸収性物品を生産する場合、供給する材料の種類が少ないため、供給装置の数を減らすことができる。

【0010】

本発明において、前記立ち上げ片には、伸長状態の弾性体が第2の接着剤を介して貼着されていると、折り畳み状態から本体を展開した際、弾性体が立ち上げ片を起立させることができる。

【0011】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態を図面に基づいて説明する。

【0012】

図1には、本発明の吸収性物品である生理用ナプキン1の一実施形態が示されている。

【0013】

この生理用ナプキン1は、液透過性の表面シート3と、液不透過性の防漏シート4と、これらの表面シート3および防漏シート4間に介在された液保持性の吸収体5と、からなる縦長状の本体2を有している。

【0014】

そして、表面シート3には、本体2の左右各端縁部において、折り返されて立ち上げ片31が形成されており、折り返された立ち上げ片31同士は、第1の接着剤6を介して接着されている。また、立ち上げ片31には、本体2を折り畳み状態から使用状態に展開した際、立ち上げ片31を本体2に対して起立させる弾性体7が伸長状態で第2の接着剤8を介して接着されている。

【0015】

立ち上げ片31の高さは、約2～40mmであることが好ましい。排泄液が本体2の外部に漏れ出ることを防ぐためである。このため、少なくとも第1の接着剤6は疎水性であり、それはコーター塗りやカーテンスプレーにより塗布される。なお、第1の接着剤6と第2の接着剤8の材料は同じであってもよい（例えば、ホットメルト）が、第2の接着剤8はコーム用ガン、スパイラル用ガン、またはオメガ用ガンなどにより、弾性体7に塗布されることが好ましい。弾性体7の

部分部分に第2の接着剤8が塗布されることにより、立ち上げ片31にできるギャザーの形状の見栄えをよくすることができるからである。

【0016】

なお、防漏シート4には、詳細には図示しないが、その表面に粘着剤が塗布された粘着剤塗布部を長手方向にわたって有しており、この粘着剤塗布部には、離型紙が貼着されている。

【0017】

図2には、本発明の吸収性物品である生理用ナプキン1の他の実施形態が示されている。この生理用ナプキン1の本体9の構成は、立ち上げ片31が吸収体5の上に位置しない点を除いて図1に示す本体2のものと略同じである。表面シート3は、吸収体5の周囲にて防漏シート4と熱融着または接着剤により接続されている。接着剤が使用される場合、スパイラル用ガンによって接着剤が塗布されてもよい。図2に示す生理用ナプキン1では、本体9の左右各側縁に略台形のウイング部が形成されている。

【0018】

次に、このように構成された生理用ナプキン1の使用方法について説明する。

【0019】

まず、折り畳み状態の生理用ナプキン1を取り出し、使用状態に展開すれば、弾性体7が元の長さに復帰するように最短距離に縮小するため、立ち上げ片31は、本体2に対して起立する。この後、防漏シート4の粘着剤塗布部に貼着されている離型紙を剥離し、粘着剤塗布部を下着の股部内面に貼着する。次いで、生理用ナプキン1を装着した下着を着用すれば、起立された立ち上げ片31が表面シート3とともに肌に接触する。

【0020】

この場合、排泄液は、表面シート3を通して吸収体5に吸収されるものの、防漏シート4によって外部に漏出することは防止される。また、排泄液が立ち上げ片31に達したとしても、立ち上げ片31は、第1の接着剤6によって貼り合わされているため、排泄液が立ち上げ片31を透過することは確実に防止される。

【0021】

なお、前述した実施形態においては、生理用ナプキン 1 について説明したが、生理用ナプキン 1 に限定するものではなく、また、使用状況によっては、本体 2 の左右各側縁に略台形状のウイング部を形成してもよいし、本体 9 がウイング部を有さなくてもよい。

【0 0 2 2】

また、前述した立ち上げ片 3 1 は、生理用ナプキンだけではなく、使い捨てオムツやパンツ（以後、これらを単にパンツという。）に用いることができる。パンツのレッグホール周りに立ち上げ片が用いられる場合、排泄液がパンツから脚を伝わって漏れることを妨げることができる。また、男性用パンツの場合、パンツの前身ごろに立ち上げ片が用いられることにより、排泄液がパンツの前部から漏れることを妨げることができる。

【0 0 2 3】

また、表面シート 3 と吸収体 5 の間には、排泄液を略一方向、つまり表面シート 3 から吸収体 5 に導くトランスファシートが挿入されていてもよい。トランスファシートは、メッシュ状であってもよい。

【0 0 2 4】

また、吸収体 5 には、表面シート 3 の上からエンボス加工が施されていてもよい。このため、吸収体 5 の形状を整えたり、吸収体 5 の吸収率を上げることができる。

【0 0 2 5】

【発明の効果】

このように本発明によれば、生理用ナプキンなどの立ち上げ片としての機能を損なうことなく構成材料の種類を増加を抑えることができ、コストを削減することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の吸収性物品である生理用ナプキンの一実施形態を示す断面図である。

【図 2】

本発明の吸収性物品である生理用ナプキンの他の実施形態を示す断面図である

【図 3】

従来の吸収性物品である生理用ナプキンの一例を示す斜視図である。

【図 4】

図 3 の生理用ナプキンの I - I 線断面図である。

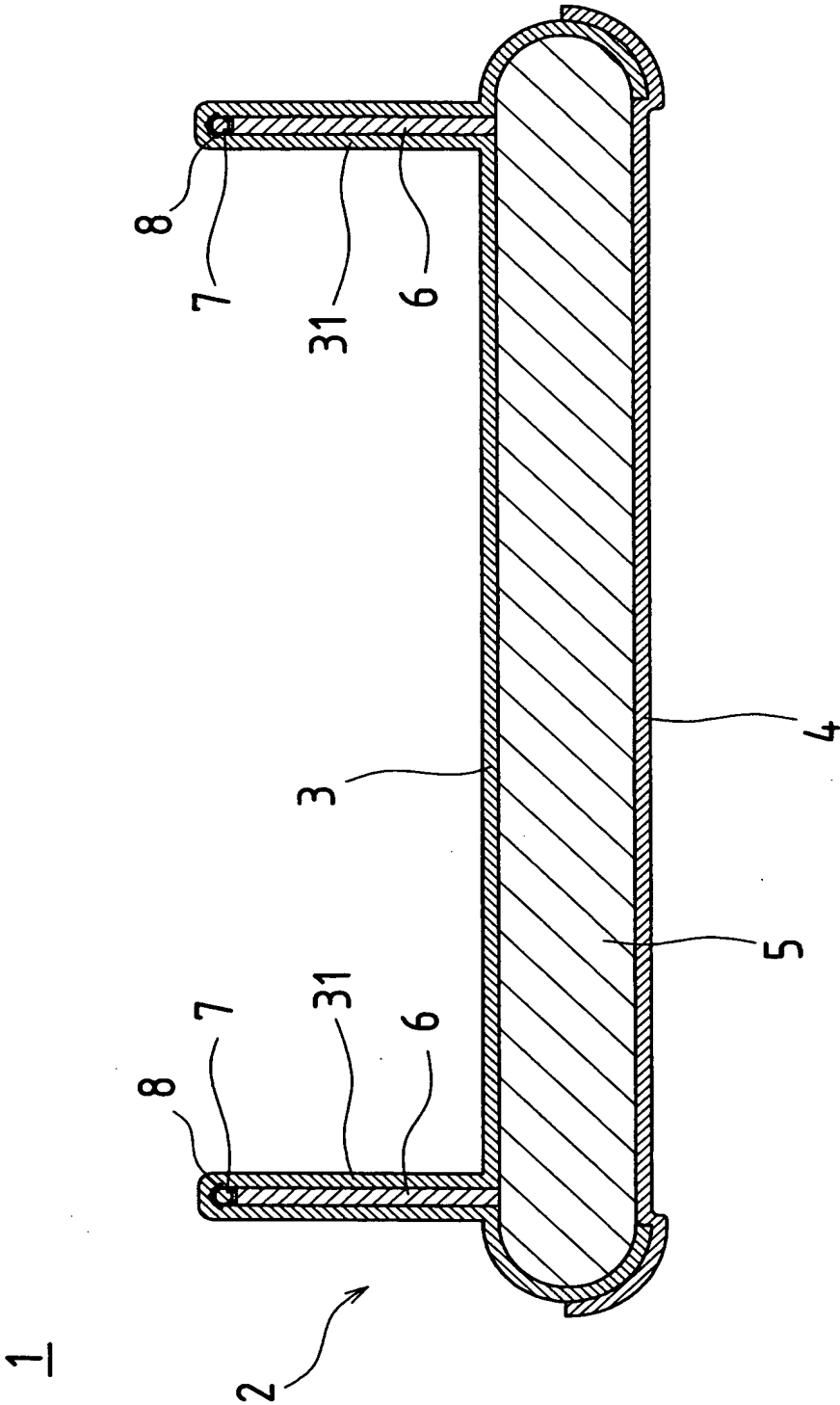
【符号の説明】

- 1 生理用ナプキン
- 2, 9 本体
- 3 表面シート
- 3 1 立ち上げ片
- 4 防漏シート
- 5 吸収体
- 6 第 1 の接着剤
- 7 弾性体
- 8 第 2 の接着剤

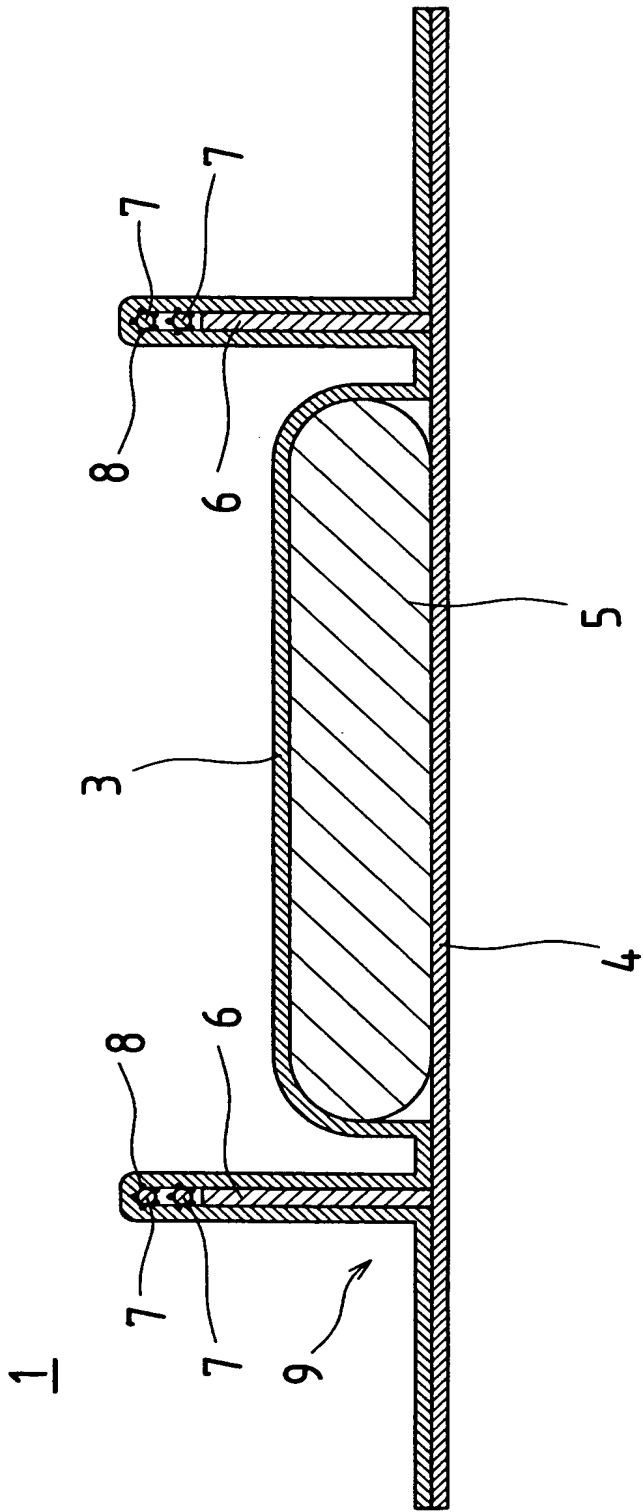
【書類名】

図面

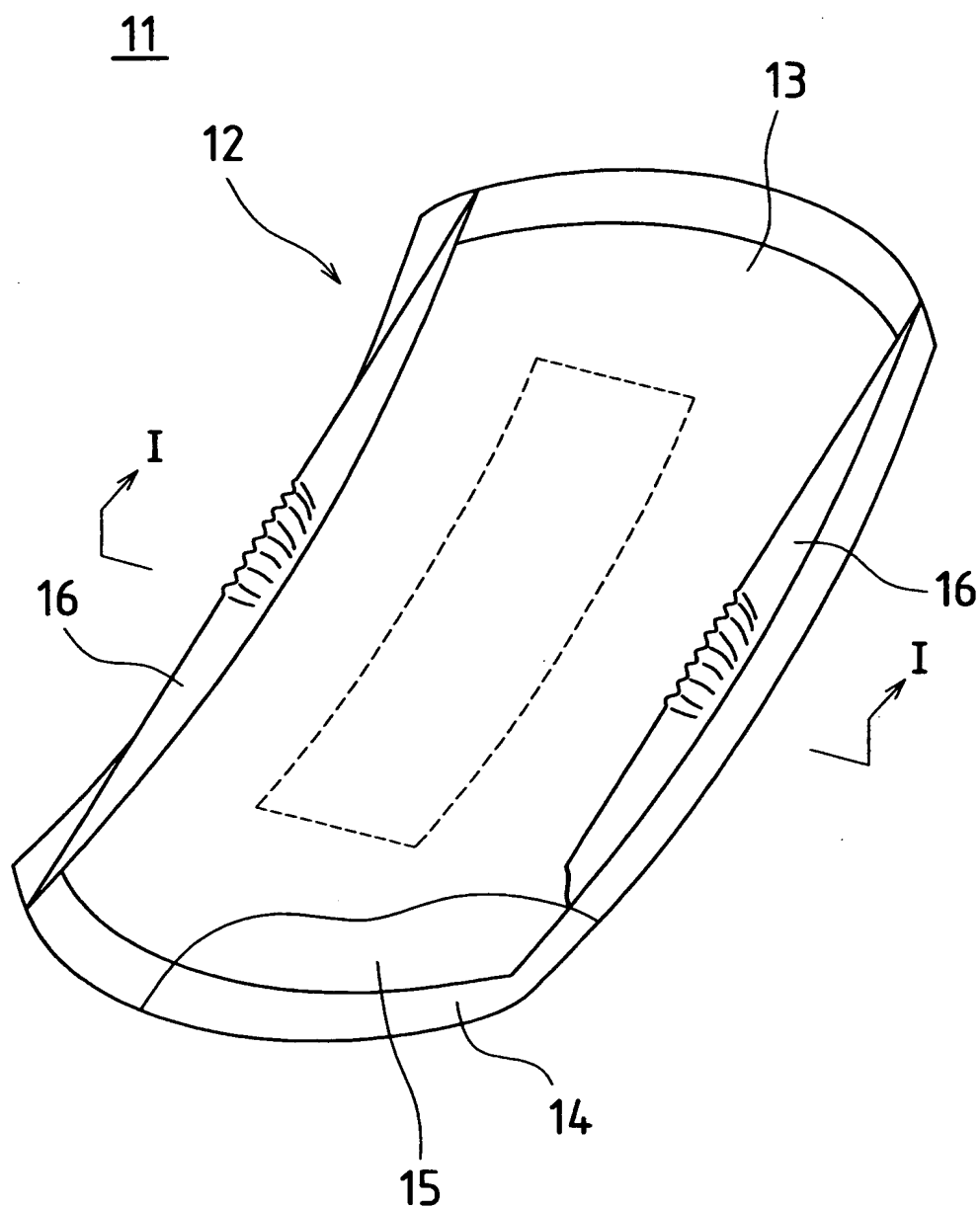
【図 1】



【図 2】

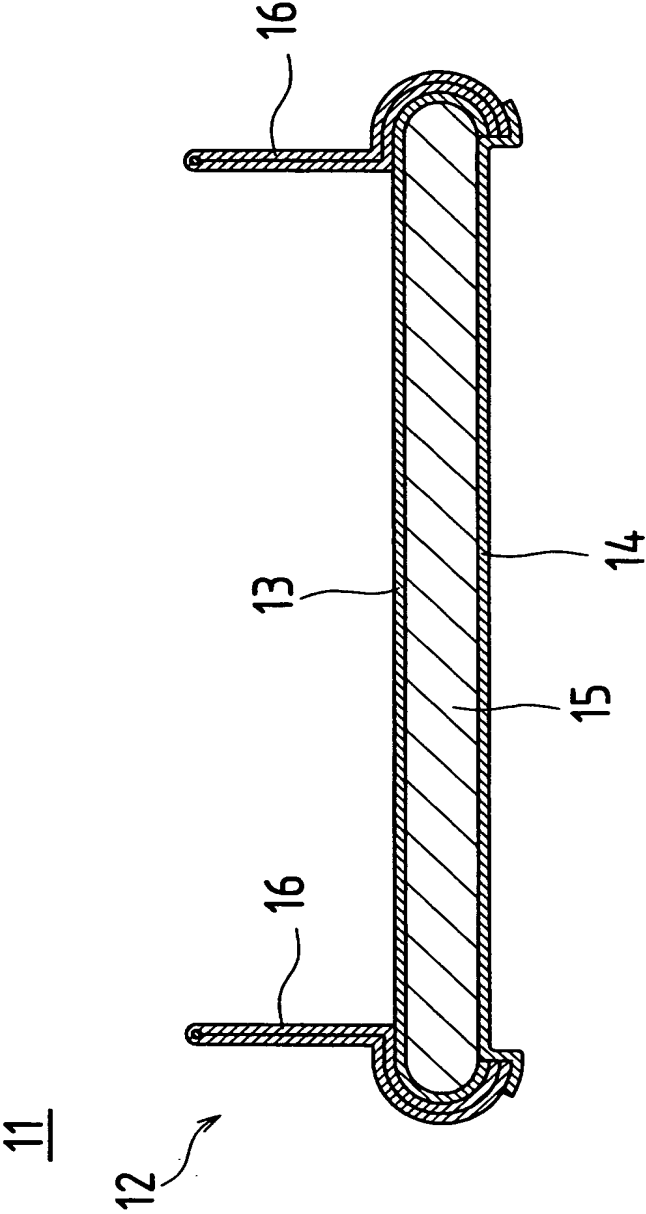


【図 3】





【図 4】






【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 立ち上げ片としての機能を損なうことなく構成材料の種類を増加を抑えてコストを削減する。

【解決手段】 液透過性の表面シート 3 と、液不透過性の防漏シート 4 と、これらの表面シート 3 および防漏シート 4 間に介在された液保持性の吸収体 5 と、からなる縦長状の本体 2 を少なくとも有する吸収性物品 1 において、本体 2 の左右各端縁近傍に位置して表面シート 3 を折り込んで一对の立ち上げ片 3 1 が形成され、各立ち上げ片 3 1 は、液不透過性のホットメルト接着剤 6 を介して接着されている。

【選択図】 図 1



特願 2 0 0 2 - 3 4 4 3 1 4

出 願 人 履 歷 情 報

識別番号

[5 9 1 0 4 0 7 0 8]

1. 変更年月日

1 9 9 0 年 1 2 月 2 0 日

[変更理由]

新規登録

住 所

大阪府摂津市南別府町 1 5 番 2 1 号

氏 名

株式会社瑞光